

1 「夜のクラゲは泳げない ミニボイスドラマ」

2 #2 推しのファンサは半端ない

脚本 横山いつき

4 登場人物

山ノ内花音

高梨・キム・アヌーク・めい

7 ○渋谷・家電量販店(ヨドバシカメラ)・

9 SE…店内の喧騒

11 花音 「それで、次は何見るんだっけ？」

13 めい 「ええと……一応教本も買っておこうと思っていて……」

15 花音 「それならさつき見たよ。確か向こうの売り場」

17 めい 「は、はい！」

19 SE…花音とめい、歩き出す

21 花音 「とうちゃーく。あっちみただよ、めい」

23 めい 「はい！ 行きましょう！」

25 花音 「そんな力いっぱい……」

27 めい 「いえ、推しとお買い物というまたとない機会！
28 粗相のないようにしなくては！」

30 花音 「いや、別にこれからも普通にあると思うけど」

32 めい 「本当ですか、本当の本当に？」

34 花音 「もちろん。仲間だし、友達だしさ」

36 めい 「(感動で硬直するめい)……」

- 37
38 花音 「めい？」
39
40 めい 「は！？ 感動で意識が……」
41
42 花音 「(苦笑して)喜んでくれてるならいいんだけどさ」
43
44 めい 「ふふ……でも良かったんですか？ まひるさん、
45 向こうに行っちゃいましたけど……」
46
47 花音 「あー、大丈夫じゃない？
48 ヨルはヨルでイラストの本見たいだろうし」
49
50 めい 「あ、確かに私たち音楽担当ですもんね」
51
52 花音 「そうそう」
53
54 SE…歩いて物色する二人
55
56 花音 「(本を手にとって)お、やっぱりそうだ。懐かしいなー」
57
58 めい 「それって……(気付いて)『ギャルでもわかる！ 作曲の仕方！』」
59
60 花音 「私さ、この本持ってるんだ。ちょっと変わってて結構面白いん
61 だよね」
62
63 めい 「私も持ってます！もちろん『ギャルでもわかる！作詞の仕方』も！」
64
65 花音 「あ、やっぱり」
66
67 めい 「作詞の仕方にはのたんのコメントページがありますから！
68 読書用、鑑賞用、保存用の三冊購入は当然です！」
69
70 花音 「あはは、ありがとう。せっかくだから、この本買ってこうかな」
71
72 めい 「え？ 持っているのでは？」

- 73
74 花音 「前の家にはあったんだけど、今は手元になくてさ。それに私、
75 これからもJELIEで作詞を担当していくわけだし！」
76
77 「……（閃いて）はっ！」
78
79 花音 「ん？」
80
81 「そ、その……一つ提案してもよろしいでしょうか」
82
83 花音 「どうしたの、そんなかしこまって」
84
85 「その、私がプレゼントするというのはどうでしょう？」
86 「初めての記念ですし」
87
88 花音 「え、いいの？ でも、これくらい自分で——」
89
90 「（遮って）いいんです！ 推しに自分のプレゼントを使って
91 貰えるなんて、ファンとして本望ですから！」
92
93 花音 「そう言われると断りづらいんだけど……そうだ！
94 良いこと思いついた！」
95
96 「はい？」
97
98 S E : レジの音
99 S E : がさがさと袋から本を取り出す
100 S E : ささっとサインする（シヤツシヤとペンを走らせる音）
101
102 花音 「はい、これ」
103
104 「ええと、これは……」
105
106 花音 「私だけもうんじゃ申し訳ないしき、交換ってことで」
107
108

109	めい	「サ、サインまで……!!? い、いいんですか、
110		こんな貴重なものを貰ってしまつて!」
111		
112	花音	「いいのいいの。まあ、今の私のサインだけど。でも、
113		大事にしてくれたら嬉しいかな」
114		
115	めい	「もちろんです! は……!!?」
116		
117	花音	「え、何そのやっちゃったみたいな顔」
118		
119	めい	「その……もう一つお願いしてもよろしいでしょうか」
120		
121	花音	「ん?」
122		
123	めい	「ののたんのサインも一緒に貰っていいでしょうか!
124		私、ののたん箱推しなので!」
125		
126	花音	「……わかった、今回だけね」
127		
128	めい	「顔を輝かせはいつ! (差し出して)よろしくお願いします!」
129		
130		SE・サインペンのキャップを外す
131		
132		

(終わり)